

2017年度

愛泉苑ショートステイ  
施設事業概況報告  
2018年3月31日現在

理事長	施設長	総主任	担当者

愛泉苑グループ理念  
『助ける人なき人のために助ける人となる』

品質方針

『明るく暖かく清潔で、安全な施設作りを進め、利用者満足度の向上を目指して、対人サービスの継続的改善を行います。』

施設概要

施設種別 併設型短期入所生活介護(介護予防含む)  
事業所番号 1173800143  
住所 〒347-0022 埼玉県加須市水深869-2  
電話番号 0480-65-4122 FAX番号 0480-65-7028  
設立認可 2000年(平成12年)4月1日(介護予防2006年4月1日)  
施設建物 鉄筋コンクリート造平屋建  
敷地面積 886.300㎡  
居室の状況及び入所定員 多床室(3人部屋1室 2人部屋2室) 入所定員7人

【事業内容】

利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることが出来るように、自宅にこもりきりの利用者の孤立感の解消や心身機能の維持回復だけでなく、家族の介護の負担軽減などを目的として実施しています。

1、毎月の定例事項

行事	日程	内容	時間
礼拝	毎日	愛泉苑職員礼拝への参加	8:45～9:00
申し送り	毎日	全体スケジュール及び引き継ぎ確認	9:15～9:30 17:15～17:30
ケース会議	毎月1回	利用者処遇についての会議	14:00～15:00

2、加算項目

※ ○は入所者全員に係る加算。△は対象者のみに係る加算。

	加算項目	内容	単位数
○	サービス提供体制強化加算 I 1	介護職員のうち、介護福祉士の占める割合が60%以上の場合	18
○	夜勤職員配置加算 I	ユニット以外で夜勤を行う介護職員又は看護職員の数が、最低基準を1以上上回っている場合	13
△	送迎加算	居室と事業所間の送迎を行う場合(片道)	184

3、品質目標

部門名	部門目標	達成度	目標達成のため努力した取り組み
ショートステイ部門	毎月ベッド稼働率を94%以上目指す。	年間通して、稼働率平均95.7%目標達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>併設型の特徴を生かし、入所申込み待機者の在宅介護の負担の緩和につなげた。</li> <li>介護者の健康面、介護状況、仕事面等を把握し、受け入れを行った。</li> <li>他事業所と連携し、利用要望に応じられるように受け入れ調整を行った。</li> <li>利用相談から円滑に支援出来るように情報掲示し、内部で空床状況がわかる様にした。</li> <li>重大な事故につながらないように利用者の状態に合わせて評価し、多職種と連携し支援内容や生活環境を見直しを行い安全配慮を行った。</li> </ul>

	目的、楽しみを持ってショートステイを利用してもらおう。	毎月1回行事の実施 目標達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去の仕事歴や趣味歴の他に日常動作や、買い物や家事等の手段的・日常的動作の支援を行い、楽しみや自信の回復につながるよう実施する。個別活動の目的や評価を行うことで、利用者も達成感が得られている。</li> <li>入所者の中で知人関係の方もおり、交流の機会を楽しみとしている。</li> </ul>
--	-----------------------------	-------------------	---

4、(a) 職員の配置状況 (併設型短期入所施設の為、愛泉苑に準ずる。)

NO	職名	常・非	氏名	資格	常勤換算
1	介護職員	常勤		ケアマネジャー・介護福祉士	1
2	介護職員	常勤		介護福祉士	1
3	介護職員	非常勤		介護福祉士	0.8
4	介護職員	非常勤		介護福祉士	0.5

常勤職員平均年齢	30歳	常勤職員平均勤続年数	5年1ヶ月
非常勤職員平均年齢	47歳	非常勤職員平均勤続年数	6年9ヶ月

(b) 採用者 なし

(c) 退職者 なし

(d) 異動

NO	職名	常・非	氏名	年月日	異動先
1	介護職	常勤		2017年4月1日	愛泉苑ショートステイ→愛泉苑
2	介護職	常勤		2017年4月1日	愛泉苑→愛泉苑ショートステイ
3	介護職	常勤		2017年4月1日	愛泉苑→愛泉苑ショートステイ

(e) 教育訓練

(i) 外部研修

主催	研修名	場所	月日	参加人数
埼玉県社会福祉協議会	基礎から技術まで「選べる」認知症研修(基礎)	埼玉会館	8月8日	
埼玉県社会福祉協議会	基礎から技術まで「選べる」認知症研修(専門B)	埼玉県産連研修センター	9月15日	
埼玉県理学療法士学会	明日から使える介護予防の知識と実践	東埼玉病院	10月22日	
熊谷社会保険委員会	年金セミナー	加須市商工会館	12月5日	
一般社団法人日本音楽レク指導協会	音楽レクリエーション(入門セミナー)	新宿文化センター	3月18日	
	合計		5件	5名

(ii) 内部研修

研修名	場所	月日	回数	参加人数
運営方針と事業計画について	りんどうフロア	4月20日	1回	4名
認知症サポーター養成研修	愛の泉デイサービス	5月17日	1回	2名
セクシャルハラスメント・パワハラメントについて	りんどうフロア	5月18日	1回	4名
高齢者虐待予防研修	あいせんハイム	6月13日	1回	1名
熱中症・食中毒予防について	りんどうフロア	6月22日	1回	4名
高齢者虐待予防研修	愛泉苑食堂	6月27日	1回	1名
接遇について	りんどうフロア	7月20日	1回	4名
介護福祉の倫理観・人材育成の取り組み	支援センター相談室	8月14日	1回	1名
認知症ケアについて	りんどうフロア	8月17日	1回	3名
認知症ケアについて	りんどうフロア	9月21日	1回	4名
インフルエンザ、ノロウイルスの感染症予防と発生時の対応について	りんどうフロア	10月19日	1回	4名
入浴事故予防について	りんどうフロア	11月16日	1回	4名
記録の書き方について	りんどうフロア	12月21日	1回	4名
平成30年度介護報酬改定に関する勉強会	りんどうフロア	1月18日	1回	3名
平成30年度介護報酬改定に関する勉強会	りんどうフロア	2月22日	1回	3名
言葉かけチェック活動からの振り返り	りんどうフロア	2月23日	1回	3名
	合計		16回	49名

5、(a) 実績

(i) 稼働日数の状況

(月平均94%設定) (名)

利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計	
介護度別	要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	要介護1	21	12	13	18	12	11	18	15	12	14	20	181	
	要介護2	8	8	4	3	4	10	6	15	7	10	9	10	94
	要介護3	145	158	154	156	137	143	140	118	134	129	115	132	1661
	要介護4	7	18	23	30	44	53	43	45	39	28	27	25	382
	要介護5	23	6	7	12	6	4	8	13	10	15	9	12	125
目標稼働日数	210	217	210	217	217	210	217	210	217	217	196	217	2555	
当月利用日数	204	202	201	219	203	221	215	206	202	196	180	196	2445	
稼働率	97.14%	93.09%	95.71%	100.92%	93.55%	105.24%	99.09%	98.10%	93.09%	90.32%	91.84%	90.32%		
四半期平均稼働率	95.31%			99.90%			96.76%			90.83%			95.70%	

(ii) 今年度と過去2年間の実績達成率比較 (%)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年間平均
2015年度	90.89	90.53	87.78	85.14	88.59
2016年度	80.21	93.29	101.01	96.15	92.66
2017年度	95.31	99.9	96.76	90.83	95.70

年間通して、1日平均利用者数  
6.7人

考察

- ・年々、ADLの低下や認知症の進行等の理由で、連続して5日程度の利用を月3～4回利用する家族が増えた。
- ・特養の併設型という施設体制から空床状況をケアマネジャーに報告し、虐待ケースや寒気に伴い体調不良者の受け入れ等積極的に受け入れをした。
- ・一方、空床利用での受け入れは、環境の違いに戸惑う利用者が多く、安心して過ごせるように馴染みの環境として、ショートステイフロアでのレクリエーションの参加など柔軟な配慮を行い、ストレスの緩和につなげた。
- ・家族によるインフルエンザ感染症等の理解があり、施設内拡散の予防につなげられた。

調理企画: 利用者が主体となり、調理をしてもらう。活動を通じて、楽しみや意欲性等を確認

行事	日程	時間	場所
バーベキュー大会(材料買い出し含む)	5月29日	10:00～12:45	りんどうフロア 苑庭
夏の風物詩を味わう	7月27日	17:00～19:00	りんどうフロア
フルーツパフェ作り	8月22日	13:00～15:00	りんどうフロア
ちらし寿司とスイーツ作り(材料買い出し含む)	9月28日	10:00～12:30	りんどうフロア
たこ焼きパーティー	10月22日	10:00～12:30	りんどうフロア
クリスマスケーキ作り	12月25日	14:00～15:30	りんどうフロア
鍋パーティー	2月23日	10:30～12:30	りんどうフロア

〈利用者の感想〉

- ・農業の経験があり、ここで野菜等育て収穫するなどまだ出来ると思わなかった。年齢に伴い何かをするという機会がなく色々な事に関心が薄れていたが、楽しみとつなげられた。
- ・健康の為に食事等に気を使ってもらうが、たまには自分で好きな味付けや飾りつけなどを選び食べられることが、とても嬉しい。
- ・1人ではできないが、みんながいると出来る事が多いね。

外出企画: 心身機能面での低下予防として、地域資源を活用し、能力の確認

行事	日程	時間	場所
バーベキュー材料買い出し	5月29日	10:00～10:45	カスミストア
加須名物うどんを食し、チャリティコンサートに出掛けよう	6月10日	11:15～16:00	前乃屋・パストラル加須
ちらし寿司とスイーツ作り(材料買い出し含む)	9月28日	10:00～11:00	カスミストア
武州中島紺屋(藍染めハンカチ作り体験)	11月29日	13:30～16:15	羽生市大字小松
蕨狩り	3月22日	13:30～16:00	菖蒲グリーンセンター

〈利用者の感想〉

- ・季節に合わせて花のぬり絵を趣味的レクリエーションで参加しているが外出の機会が少ないので、色のイメージが分からなくなってきている。できれば外出の機会をもう少し増やしてほしい。
- ・思い描いた染め模様に来るかは、仕上がりを見るまでは分らないが、逆に刺激的で楽しかった。又、色が定着するまでの色の変化に驚いた。自分だけ楽しんだけど家族にも教えてあげたい。

6、利用者の状況

(a) 利用者の年齢	平均 86.24歳	最高年齢 101歳	最少年齢 62歳
------------	-----------	-----------	----------

(b) 利用者の介護度	平均 2.73
-------------	---------

(c) 利用目的

(名)

	要支援1		要支援2		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		合計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
1、利用者自身の状況若しくは病状	0	0	0	0	0	1	0	2	2	6	1	1	0	1	3	11
2、家族の疾病、冠婚葬祭、出張	0	0	0	0	1	6	0	2	1	4	0	2	1	0	3	14
3、家族の身体的、精神的負担の軽減	0	0	0	0	0	1	0	2	1	4	2	3	0	1	3	11
4、虐待相談からの受け入れ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	0	0	0	0	1	9	0	6	4	14	3	6	1	2	9	37

(d) 受入れ実施地域者数 (件)

加須市	久喜市	県内 合計	県外	総合計
45	1	45	0	46

7、予防処置 是正処置について (件)

予防処置	是正処置	合計
4	2	6

8、事故の状況

(a) ヒヤリハット区分について

(件)

転倒	転落	ずり落ち	褥瘡	皮剥け	内出血	誤薬	異食	誤嚥	落葉
129	20	2	1	0	5	4	9	6	5
スキントラブル	入浴事故	爪はがれ	火傷	他者との トラブル	合計	ヒヤリハット報告は、翌日の朝の申し送り後に他部門と検証内容を確認してから業務に入る仕組みを行っている。又、月1度フロア会議にて、予防策の再検証を行っている。			
0	0	0	3	7	191				

考察

- ・転倒リスクの高い利用者については、コールクッションや離床センサーを活用して支援を行うケースが増えた。
- ・共有シートを作成し、利用者の情報をショート担当者を受け入れフロア担当者間で、活用ができ事故の予防が出来た。
- ・月毎にフロア会議でヒヤリハット報告から心身機能・住環境・介護環境等事故予防に向けた対策を多職種で評価を行い、事故予防につなげた。
- ・ケアマネや家族に検証結果をもとに報告し、注意点や対策など共有した。

(b) 事故区分について

(件)

転倒	転落	ずり落ち	褥瘡	皮剥け	内出血	誤薬	異食	誤嚥	落葉
6	1	0	0	1	2	0	0	0	4
スキントラブル	入浴事故	爪はがれ	火傷	他者との トラブル	合計				
0	0	0	0	0	15				

居室トイレ前で転倒にして、家族で通院を行った。

結果：医師から入院に至らないが、打撲と肋骨にヒビが少し見られる疑いと家族から診断報告を受けた。

重大事故1件について

【事故の原因】

- ・時折、杖の使用の認識が薄れてしまうことや体調によりめまいなどの訴えがあったが、朝のお茶の準備品を取りに職員がフロアから離れ、利用者の行動把握が出来ていなかった。

【本人の訴え】

「トイレから出て、背中を伸ばそうとした拍子に足が滑ってしまった」と、バランスを崩して転倒したと報告を受けた。

【再発防止】

- ・フロアから離れる際は、きぼうフロアに報告し、把握の依頼や短時間でフロアに戻る。
- ・安全に行動要求が満たされるように離床センサーを活用をする。

【その他の事故再発予防に向けた活動】

- ・トイレや廊下等は夜間帯も暗闇にせず、生活動線に合わせ間接照明を設置した。
- ・利用者の生活行動習慣から危険予測を多く出してもらい、安全配慮として4S行動に取り組んだ。
- ・ベッドキャスターなど物品の修繕に対し、迅速に交換ができた。
- ・生命に関わりやすい事故に対して年間事故の再発防止策をまとめ状態に合わせた対策が行える様にマニュアルを作成し、事故発生件数の軽減へとつなげていく。

(c) 利用者の事故対応について (件)

入院	通院	処置	異常なし
0	1	1	0

(d) 職員の事故、病欠について (件)

労災事故	人身事故	車輻物損事故	メンタル不調	その他	合計
0	0	0	0	0	0

9、苦情・要望について (件)

利用者からの苦情・要望				御家族からの苦情・要望				合計
運営面	サービス面	その他	対処済み数	運営面	サービス面	その他	対処済み数	
0	0	0	0	0	0	0	0	0
関係機関からの苦情・要望				地域からの苦情・要望				
運営面	サービス面	その他	対処済み数	運営面	サービス面	その他	対処済み数	0
0	0	0	0	0	0	0	0	

考察

- ・新規利用者を受け入れる前に、十分な説明と、日常動作の確認等の他に要望内容の有無を確認して事前にトラブルの予防を図った。

10、施設内整備・備品購入について なし